

切削加工の部品製造技術の向上で 売上が約40%アップ

課題

人手不足を解消する 先端技術の導入

昭和59年に設立し、自動車用内装・外装部品の組立て、サスペンションなどの機能部品である鋼管加工、電子ビーム溶接などの自動車機器部品製造をおもに行ってきた株式会社モテギ。めざましい技術進化を遂げる国内自動車産業の最先端技術をより進化させるために技術開発を重ねている。現在、地域経済への貢献を目指すために、長年にわたって蓄積した加工技術を基盤とした次世代自動車のさらなる技術開発に加え、燃費向上を図るための鋼管加工製造を行っている。

しかし近年は、従業員の高齢化にともなう人手不足が課題となっていたことから、先端技術を駆使した加工ラインの自動化で人手不足解消を図ろうと考えていた。

機械導入にあたっては、必要な設備投資を支援するものづくり補助金を利用するため、申請に必要な事業計画作成の相談で大泉町商工会を訪れた。

支援

技術力の強化で 販売力・競争力を向上

相談を受けた商工会は、「電子ビーム溶接による自動車エンジンの高燃費化技術の開発」をテーマに、ものづくり補助金の申請支援を行った。

このときは残念ながら不採択だったが、ものづくり補助金の代替事業として群馬県の支援施策「ぐんま新技術・新製品開発推進補助金（市町村・県パートナーシップ支援型）」のエントリーを提案。申請支援を実施し、採択となった。

また、試作開発を行いながら、県が実施している「航空宇宙産業参入支援事業」も活用。コーディネーターによる技術課題に対する助言・指導をもらい、チタン合金の電子ビーム溶接による軽量化事業を進めると同時に、事業化の進捗状況などの適切な把握と、補助事業により導入した機械装置などの現物確認、伝票などの証憑書類の原本確認を実施した。

ものづくり補助金の申請支援開始の平成25年11月期と、平成29年11月期の売上高を比較すると38.3%の増加となり、事業成果として継続的な受注実績をあげることができた。

翌年には、鋼管加工部門における次世代向け自動車サスペンションの軽量化による燃費向上の取り組みを支援するため、ものづくり補助金への申請と並行して経営革新計画策定



保有する電子ビーム溶接設備

を支援し無事採択・承認となった。現在も継続した支援を実施している。

同社は、電子ビーム溶接技術で国内でも数少ない特殊溶接機を保有しており、自動車ギヤ、インフレーター、その他精密部品の試作開発から量産に至るまでの対応が可能だ。

しかし、主要顧客である自動車産業が、次世代のハイブリッド車の試作開発にシフトしたことで、エンジン車の自動変速機に使用されるトランスミッションギヤの受注が激減している。このため、電子ビーム溶接設備を有効活用すべく、ぐんま航空宇宙産業振興協議会（群馬県工業振興課主管）の会員として、航空宇宙産業の航空機エンジンファンのチタン合金溶接の試作開発も進めている。

競争力がさらに強化されたことで、今後は生産性の向上はもちろん、販売力の強化も大いに期待される。

支援の経過

期間	支援内容
H29年4月	ぐんま新技術・新製品開発推進補助金の申請支援（6月採択）
H30年4月	ヒアリング開始・経営革新計画の申請支援
〃	経営革新計画の承認
〃	ものづくり補助金の申請支援（6月採択）

会社概要

会社名：株式会社モテギ
 住所：群馬県邑楽郡大泉町東小泉1-29-6
 電話番号：0276-63-7301
 URL：http://www.motegi-net.co.jp
 代表者名：代表取締役 茂木透
 創業年：昭和59年
 従業員数：46名
 商工会名・担当者名：大泉町商工会・滝澤尚人